

職員施設見学研修

児童生徒が高等部を卒業した後の進路先や生活スタイルについて考え、今後の進路指導に生かすことを目的に、「社会福祉法人 島原市手をつなぐ育成会」に施設見学に行きました。育成会が運営されている3つのグループホームの見学の後、育成会の成り立ちや活動内容等を御説明いただきました。以下が研修の様子です。

グループホームひまわり
(女性棟 定員7名)
職員3名体制
民家(購入・改装)



身辺処理に支援を要する方々が多いようです。移動式の簡易スロープがあり、様々な段差に対応しています。また、痰の吸引のため、看護師が毎日訪問して対応されています。



グループホームあい
(男性棟 定員7名)
職員2名体制
グループホームとして建設



身辺処理に支援を要する方々や、強度行動障害の方が利用されています。グループホームとして建設されているため、居住スペースや共同スペースが整然と配置されています。



グループホームひかり
(男性棟 定員6名)
職員1名体制
民家(借家)



比較的年齢の高い身辺処理が自立されている方々が利用されています。



島原市手をつなぐ育成会について

島原市手をつなぐ育成会は、保護者を中心に理解ある地域、理解ある関係者の努力や協力により活動できていることを話されました。育成会(全国・九州・県)の働き掛けにより実現したこと(特別児童扶養手当やJR運賃割引など)を考えると、障害のある方々の生活を豊かなものにするために、尽力していただいていることが分かりました。私たちにできることは何かを改めて考える機会となりました。



島原市手をつなぐ育成会様、お忙しい中、私たちの研修のためにお時間をいただき、本当にありがとうございました。今回得た知識を、今後の進路指導に生かしたいと思います。